



# 二中だより



◆校訓 まごころ

◆学校教育目標 明朗 向上 自主・自立

≪40周年テーマ 伝統と誇りある学校の創造≫

新座市立第二中学校

新座市野火止7-17-10

☎ 048(477)1212

## 努力の成果

6月の学校総合体育大会朝霞地区大会は、好天に恵まれ、順調に熱戦が繰り広げられました。

二中の活躍ぶりはすばらしく、県大会へ多くの部活動が参加を決めました。残念ながら敗退した部活動も、懸命にプレーし、応援に声をからす姿が感動的でした。すばらしいプレーをありがとう。そして、これから迎える県大会での活躍を祈っています。

### ひたむきな努力の成果

二中の部活動は、どの部活動もよく練習をしています。日頃の努力の成果が、よい結果に結びついています。地域で見守ってくださる方々に大会の結果を話すと、「よく頑張ったね。いつもよく練習しているもんね」と言ってくださいます。

サッカーのワールドカップでは、日本チームの活躍で大変盛り上がっていますが、6月29日の朝日新聞に日本代表お FORWARD 岡崎慎司選手のことが載っていました。岡崎選手はデンマーク戦で3点目を決めた選手です。

岡崎選手が中学校まで所属していた地域のクラブチームの山村俊一コーチは、岡崎選手が清水エスパルスに入団する壮行会の寄せ書きに「一生ダイビングヘッド」と書いたそうです。それは、「うまくない、足も速くない。だからこれからも得意技のダイビングヘッドで生きていけ」というアドバイスだったといひます。また、岡崎選手について「あいつはいつも走りまわっている。たまたまボールが目の前に来ることもあるけれど、それが何度も繰り返されるのは、ひたむきに努力しているからや」と言っています。

元巨人軍のプロ野球選手桑田真澄投手は、PL学園時代、清原選手とともに甲子園をわかせる輝かしい記録をうちたてました。巨人軍時代もエースとして活躍し、退団後もメジャーリーグにも挑戦しました。その桑田選手がこんなことを言ってい

ます。

「自分には才能がない。才能がない自分が活躍できたのは、ただひとつ努力を重ねるといふ才能があったから」

と語っています。また、努力について

「グラウンドでやるのは努力ではない。家に帰ってからやるのが努力である。しかも、やりすぎないように少しのことを毎日こつこつとやることだ」と語っています。

努力は大切なことですが、簡単なことではありません。二人の一流選手は、私から見れば多くの才能を持つ特別な人であると思います。誰でも努力をすればあのようにになれるわけではありません。でも、そのすばらしい才能あふれる選手でさえ、努力を積み重ねているということは忘れてはいけないと思います。

### チームを支えるもの

学校総合体育大会ですばらしい成果を上げた野球部が優勝を決めた試合の後、スタンドで応援をしていた一人の3年生が、

「僕たちは試合に出られなかったけど、僕たちも一緒に頑張ってきて本当によかった」とうれしそうに言ってくれました。その生徒が、大会後のある日の朝練習で、バックネット裏に落ちていたたくさんのボールを拾って、自分の着ているシャツを前に広げて持ち、運んでいる姿を見かけました。

チームの活躍は、日向(ひなた)のレギュラーの生徒だけではなく、控えの選手の陰の頑張りによって支えられているということを感じました。

ボールを拾っている選手まで含めた、選手の活躍に拍手を送りたいと思います。すべての選手の頑張りや、みんなが認めていることができこそ、本当に強いチームと言えるのではないのでしょうか。

校長 森田 和 憲